

腎臓内科



診療科長
八幡 兼成

□ スタッフ

専門医資格等 日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会専門医
京都大学医学博士

	氏名	専門医資格等
医 長	瀬田 公一	日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医・指導医 日本高血圧学会専門医 日本内科学会認定医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本急性血液浄化学会認定指導者 京都大学医学博士
医 師	菊地 祐子	日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 日本内科学会認定医 認定産業医
医 師	小泉 三輝	日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 日本内科学会認定医
専 修 医	村田 真紀	日本内科学会認定医
専 修 医	北村 憲子	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本腎臓学会研修施設 日本透析医学会認定施設 日本急性血液浄化学会認定指定施設
-------	---

1. 積極的に腎生検を行い、早ければ翌日には診断がつく体制を取っている
2. 血液透析だけでなく、血漿交換や持続血液ろ過透析など急性血液浄化に対応できる
3. 腹膜透析も多く導入している
4. 学会発表・論文執筆・臨床研究を積極的に行っている

□ 主な対象疾患

急性腎不全、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、急速進行性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、Gitelman症候群、高血圧症

□ 診療(業務)内容

1. 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などに対して腎生検を行い、その結果に基づいて治療を行っている。
2. 保存期腎不全に対し、血圧管理を始めとした腎保護療法を行い、末期腎不全への進行を抑制できるようにしている。

3. 末期腎不全に陥った場合、腎移植・腹膜透析・血液透析の3つの選択肢を提示し、患者に合った治療を提供している

□ 診療実績(平成25年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
15.5名	345名	15.8日

外来患者数

1日平均患者数
32.4名

主な疾患の件数など

腎生検数	血液浄化療法延べ件数	血液透析導入患者数	腹膜透析導入患者数
79件	2,987件	40件	7件

□ 地域医療連携・広報活動

- ・世界腎臓デー関連イベント
2013年3月13日 京都医療センターロビー
- ・内分泌代謝研修会
「糖尿病療養指導に期待すること」 八幡 兼成
2013年10月30日 京都医療センター多目的ホール
- ・伏見CKD医療連携の会講演会
「anorexia nervosaと腎障害 ～意外と知らない合併症～」 村田 真紀
「日本腎臓学会で連携パスの発表をしました ～伏見CKD連携パスのその後～」 菊地 祐子
「CKD患者の高血圧と腎性貧血の治療戦略」 ～京都医療センター腎臓内科発 臨床研究途中経過の御報告～
瀬田光一・八幡 兼成
「CKD患者に造影検査は無理なのか? ～造影剤から腎臓を守るコツ～」 循環器内科 阿部 充先生
2013年10月5日 京都タワーホテル
- ・腎臓病教室応用編
2013年9月7日 京都医療センター多目的ホール
- ・桃仁会病院勉強会
「腎性貧血あれこれ」 八幡 兼成
2013年8月2日 桃仁会病院会議室
- ・第1回高尿酸血症治療研究会
「CKDにおける高尿酸血症の管理」 八幡 兼成
2013年7月6日 ウェスティン都ホテル
- ・京都CKD講演会
「京都医療センターにおける腎性貧血治療への取り組み」 八幡 兼成
2013年6月6日 ハイアットリージェンシー京都
- ・伏見CKD医療連携の会講演会
「わかりやすいIgG4関連疾患」 小泉 三輝
「教育入院パスを作りました」 金子 恵一
「CKD患者の高血圧と腎性貧血の治療戦略」 ～京都医療センター腎臓内科発 臨床研究スタートの御報告～
瀬田 公一・八幡 兼成
「慢性腎臓病地域連携診療システムの課題と提案」 京都大学腎臓内科准教授 塚本 達雄先生
2013年4月20日 ホテルグランヴィア京都
- ・明日の透析を考える会
「京都医療センターにおけるミルセラの使用経験とその効果」
2013年4月7日 京都ホテルオークラ

□ 地域医療連携・広報活動

区分	演者・演題・学会名
国内学会	・当院でのAKIに対する腎代替療法の選択について～IRRT、SLED、CRRTの使い分け～ 瀬田公一, 北村恵子, 村田真紀, 小泉三輝, 菊地祐子, 八幡兼成 第34回京都透析医学会講演会
国内学会	・Gitelman症候群におけるgenetic background解析 中尾 佳奈子, 臼井 健, 中谷 理恵子, 植田 洋平, 垣田 真以子, 金子 恵一, 難波 多挙, 立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 八幡 兼成, 島津 章 第23回臨床内分泌代謝Update
国内学会	・シンポジウム 腎不全に心不全・呼吸不全を合併した患者の血液浄化法とその管理SLEDとCRRT、その使い分け 瀬田公一 第41回日本集中治療医学会学術総会
国内学会	・鑑別診断に苦慮し穿孔性腹膜炎にて死亡した管内増殖性腎炎の一例 瀬田公一, 小泉三輝, 村田真紀, 菊地祐子, 瀬田公一, 北村博司, 八幡兼成 第43回日本腎臓学会西部学術集会
国内学会	・尿蛋白を伴う腎障害をきたした神経性食思不振症に対して腎生検を施行し、著明な間質性腎炎を認めた一例 村田真紀, 金子恵一, 北村恵子, 小泉三輝, 菊地祐子, 瀬田公一, 八幡兼成 第43回日本腎臓学会西部学術集会
国内学会	・リネゾリドによる乳酸アシドーシスをsustained lowefficiency dialysis with filtration (SLED-f)により改善できた一例. 瀬田公一, 小泉三輝, 北村恵子, 村田真紀, 菊地祐子, 八幡兼成 第46回京都透析懇話会
国内学会	・急性血液浄化療法を施行し救命したピグアナイドによる乳酸アシドーシスの一例 瀬田公一, 村田真紀, 北村恵子, 小泉三輝, 菊地祐子, 八幡兼成 第24回日本急性血液浄化学会学術集会
国内学会	・全身性エリテマトーデスに合併した血栓性血小板減少性紫斑病の症例 金子恵一, 村田真紀, 小泉三輝, 菊地祐子, 瀬田公一, 八幡兼成 第58回日本透析医学会学術集会
国内学会	・ビタミンD3外用薬で急性腎不全、高Ca血症をきたした3例 小泉三輝, 村田真紀, 金子恵一, 菊地祐子, 瀬田公一, 八幡兼成 第58回日本透析医学会学術集会
国内学会	・当院におけるANCA関連血管炎再燃例の検討 村田真紀, 金子恵一, 小泉三輝, 菊地祐子, 瀬田公一, 八幡兼成 第58回日本透析医学会学術集会
国内学会	・CKD患者の降圧目標達成率についての検討 瀬田公一, 村田真紀, 金子恵一, 小泉三輝, 菊地祐子, 八幡兼成 第56回日本腎臓学会学術集会
国内学会	・病診連携システムの構築と適切な専門医フォローアップ間隔の評価 金子恵一, 村田真紀, 小泉三輝, 菊地祐子, 瀬田公一, 八幡兼成, 伏見CKD医療連携の会 第56回日本腎臓学会学術集会
国内学会	・当院におけるsustained low-efficiency dialysisの施行状況についての検討 瀬田公一, 北村恵子, 村田真紀, 小泉三輝, 菊地祐子, 八幡兼成 第3回血液浄化心不全治療研究会
国内学会	・Gitelman症候群が疑われSLC12A3遺伝子解析を実施した25例における遺伝子変異および臨床徴候の解析 中尾 佳奈子, 臼井 健, 中谷 理恵子, 植田 洋平, 垣田 真以子, 金子 恵一, 難波 多挙, 立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 八幡 兼成, 島津 章 第86回日本内分泌学会学術総会
国内学会	・慢性腎臓病を合併する高血圧患者の外来血圧目標達成率についての検討 瀬田公一, 村田真紀, 金子恵一, 小泉三輝, 菊地祐子, 八幡兼成 第2回臨床高血圧フォーラム

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
日集中医誌 21:63-4,2014	瀬田公一, 小泉三輝, 村田真紀, 金子恵一, 菊地祐子, 八幡兼成. リネゾリドによる乳酸アシドーシスをsustained low efficiency dialysis with filtration (SLED-f)により改善できた一例.
Mebio 31.20-27,2014	兼成, 笠原正登. AKIの疫学 ～AKIは増えているか?どの領域で問題となっているか?～
Current Therapy 31:710-14, 2013	瀬田公一. 原発性アルドステロン症—診断と治療の新展開— 心血管・腎機能障害
月刊循環器 3:(7)97-104, 2013	瀬田公一, 笠原正登. 心腎連関の病態を知る—治療に活かす— 造影剤腎症の病態と対策
CEN Case Reports DOI:10.1007/s13730-013-0083-0	Disease Accompanied by IgG kappa in Serum, Urine, and Bone Marrow Keiichi Kaneko, M.D., Koichi Seta, M.D., Ph.D., Jun Soma, M.D., Ph.D., Takashi Kuwahara, M.D., Ph.D., Mitsuteru Koizumi, M.D., Yuko Kikuchi, M.D., Akira Sugawara, M.D, Ph.D., Kensei Yahata, M.D., Ph.D.
Intern Med. 2013;52(17):1943-7	Pregnant Woman with Severe Gestational Proteinuria Mitsuteru Koizumi, Kensei Yahata, Shoko Ohno, Kenichi Koga, Yuko Kikuchi, Chinatsu Hasegawa, Koichi Seta, Takashi Kuwahara, Akira Sugawara.